

令和7年度広島市献血推進協議会 会議要旨

1 開催日時

令和8年2月10日（火）14時00分から15時00分まで

2 開催場所

オンライン及び広島市役所本庁舎14階第7会議室

3 出席者等（委員23名中18名出席）

・委員（18名）

鉄村副会長、岡田委員、坂井委員、麻奥委員、西山委員、三浦委員、蔵田委員、八木委員、山田委員、森島委員、岸本委員、飯田委員、桑野委員、月村委員、久保委員、石橋委員、大岡委員、山根委員

・委員代理（1名）

広島県公立高等学校長協会 石井事務局長

・幹事（4名）

加賀谷保健医療局長、上田保健部長、遠山保健部次長（兼）市立病院担当部長、小磯医療政策課長

・オブザーバー（5名）

広島県薬務課 渥美技師

広島県赤十字血液センター事業推進部 川口部長

広島県赤十字血液センター献血推進課 住岡田課長、徳永係長、杉主事

・事務局職員（2名）

・傍聴者（0名）

計 30名

4 会議要旨

(1) 議事1 令和7年度 献血推進事業の実施状況について（報告）

説明者：小磯医療政策課長

(2) 議事2 令和8年度 献血推進事業計画（案）について

説明者：小磯医療政策課長

(3) 議事3 その他

①「広島県の献血状況」②「令和7年度広島県献血推進計画に対する実施状況」

説明者：岡田委員（広島県健康福祉局薬務課長）

③「学区献血推進協力会事業について」

説明者：小磯医療政策課長

④「献血事業の現状と課題」

説明者：広島県赤十字血液センター麻奥所長、徳永係長

【質疑応答等】

（麻奥委員）

皆様には、日頃から献血推進に御尽力いただきまして、誠にありがとうございます。血液事

業の現状について、市及び県から説明があったように年間では献血必要量を確保することができています。しかし、1日単位で見ると予想を上回る血液量が必要となった場合、従来は献血基盤が大きかったので献血への呼びかけにすぐ応じてくださる方が多くいらっしゃいましたが、近年はそういった協力者が減少しており、適正在庫を下回る日が時折生じています。

現在は全国ネットワークで血液を融通し合い対応していますが、全国的に若年層の献血量が減少傾向にあります。広島で必要な血液は広島の中でできる限り対応したいと考えており、そのためにも献血の基盤となる若年層や年に1回でも協力いただける層の確保など、関心を持ってくださる方々を増やしていくことが大変重要です。将来にわたり安定的に血液事業を継続するため、今後とも献血推進に御協力をお願いします。

(住岡田課長)

11月末から12月にかけて、輸血を受ける患者さんが多くなり、血液が非常に不足しました。2月に入り寒い日が続ки、大雪で交通の乱れもあったことから、今度は献血に参加される方が少ない状況となっています。現在の血液在庫は目安の80%程度であり、少ない状況が続いています。このまま2月、3月も同様の状況とならないためにも、皆様からの普段以上のお声かけが大変重要となっています。引き続き御協力をお願いします。

(鉄村副会長)

血液は長期間保存できるものではなく、日々の献血が重要であると思いますので、引き続き皆様の御協力をお願いします。